

全建発第26～134号
平成26年 7月17日

(機関管理者) 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 松 田 芳 夫



第605回建設技術講習会（災害に強い国土地域づくり）開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、機構・公社等に勤務する建設関係職員約6万2千名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上を図り、建設関係施策の円滑な推進及び良質な社会資本整備に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした一般社団法人であります。

私ども公共事業に携わる建設技術者は、災害に強い国土・地域づくり、入札契約制度改革と公共工事の品質確保、アセットマネジメントと公物管理の課題、工事積算における動向と工事施工における合理化、安全対策など、多くの課題に取り組みながらこれらの要請にこたえていく必要があります。技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められています。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等業務に直接役立つ内容となっております。このたびの第605回建設技術講習会では、東日本大震災や近年の気候変動による風水害、新燃岳の噴火など、各地で自然災害による甚大な被害を受け、自然災害から国民の生命と財産を守ることが重要な課題となっている。また、近年では東南海地震発生の危険性、局地的な集中豪雨や台風による風水害などの自然災害リスクに対し、予防的な治水対策、水害の再度災害防止対策等の治水対策、津波・高潮対策及び土砂災害対策等の推進が急務となっている。これら自然災害における防災情報の高度化、地域防災力の向上や緊急時における危機管理対応を適切に行うための体制づくり（情報収集・提供、地域住民・地元企業等との連携等）など、災害危機管理能力の向上や自然災害に対する施策及び取り組みなど、防災対策等について最新の情報を得ることを目的としています。本講習は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 謹白

全建発第25～257号

平成26年 1月22日

一般社団法人 全日本建設技術協会
研修委員長 田村 秀夫
(国土交通省大臣官房技術調査課長)



平成26年度建設技術講習会の活用について

謹啓 時下ご清祥のこととお慶び申し上げます。

わが国においては、地震、津波、水害・土砂災害等の自然災害による被害が近年多発しており、南海トラフ地震、首都直下地震への対応等災害対策の重要性が高まっています。また既存のインフラにおいても急速に老朽化が進んでいること、また急速なグローバル化が進展しているなかで、国民の生命と財産を守り、経済の活性化を図るための、社会資本の整備・維持管理を着実に推進することが急務となっています。さらに交通網の発達や情報通信技術の進展、エネルギー情勢の変化等により人々の暮らしも多様化しているため、国土行政を進める上で国民生活に係る幅広い分野を所掌することも重要となっており、時代の要請に応えた施策を展開していくことが求められています。

私ども公共事業に携わる建設技術者は、災害に強い国土・地域づくり、入札契約制度改革と公共工事の品質確保、アセットマネジメントと公物管理の課題、工事積算における動向と工事施工における合理化、安全対策など、多くの課題に取り組みながらこれらの要請に応じていく必要があります。技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められています。

一般社団法人全日本建設技術協会では、主に官公庁に勤務する建設技術関係者の資質の向上を図るため、建設技術講習会及び海外研修を実施しておりますが、このたび平成26年度開催計画について、別紙のとおり決定し実施することとなりました。

本建設技術講習会では、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等、業務に直接役立つ内容となっておりますことから、公共事業に携わる官公庁職員の研修の機会として意義あるものと考えておりますので、ご理解のうえ講習会の積極的なご活用についてご検討いただきますようお願い申し上げます。

謹白

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 松田 芳一



第605回建設技術講習会（災害に強い国土・地域づくり）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成26年9月17日（水）～19日（金）、盛岡市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、東日本大震災や近年の気候変動による風水害、新燃岳の噴火など、各地で自然災害による甚大な被害を受け、自然災害から国民の生命と財産を守ることが重要な課題となっている。また、近年では東南海地震発生危険性、局地的な集中豪雨や台風による風水害などの自然災害リスクに対し、予防的な治水対策、水害の再度災害防止対策等の治水対策、津波・高潮対策及び土砂災害対策等の推進が急務となっている。これら自然災害における防災情報の高度化、地域防災力の向上や緊急時における危機管理対応を適切に行うための体制づくり（情報収集・提供、地域住民・地元企業等との連携等）など、災害危機管理能力の向上や自然災害に対する施策及び取り組みなど、防災対策等について最新の情報を得るものとするを目的としています。

なお、本講習会は岩手県・盛岡市の共催、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴講料：正会員・特別会員・賛助会員 …………… 12,900円
正会員（30歳未満〔全国〕、地元〔開催県内に勤務〕） …… 2,000円
非会員 …………… 17,900円
※昼食の斡旋はありません ※聴講のみの参加は可能です
※正会員（30歳未満、地元）は割引価格のため取り消しはできません

③現場研修料：8,600円〔うち昼食代1,200円〕
※現場研修のみの参加はできません

④申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の（写）〕を添えて期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。
開催当日に会場でのお支払い等は受け付けできません。

⑤申込書送付先：（一社）全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken.com
〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7F
TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱東京UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 **0311142**
口座名義：シャ）ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ
※必ず、お振込人名義（協会名）の前に、開催回数の「605」をつけ加えて下さい。
※振込手数料はご負担願います。

⑦申込締切日：平成26年8月29日（金）必着（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

①	平成26年9月5日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
②	平成26年9月12日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
	上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。
※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

第605回建設技術講習会（災害に強い国土・地域づくり）日程 ～危機管理に備えた体制の充実強化～

一東日本大震災や近年の気候変動による風水害、新燃岳の噴火など、各地で自然災害による甚大な被害を受け、自然災害から国民の生命と財産を守ることが重要な課題となっている。また、近年では東南海地震発生の危険性、局地的な集中豪雨や台風による風水害などの自然災害リスクに対し、予防的な治水対策、水害の再度災害防止対策等の治水対策、津波・高潮対策及び土砂災害対策等の推進が急務となっている。これら自然災害における防災情報の高度化、地域防災力の向上や緊急時における危機管理対応を適切に行うための体制づくり（情報収集・提供、地域住民・地元企業等との連携等）など、災害危機管理能力の向上や自然災害に対する施策及び取り組みなど、防災対策等について情報を得るものとする。

会場 …… アイーナ（7階アイーナホール）
〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通1-7-1 TEL019-606-1717(代)

(1日目)	平成26年9月17日(水)	(敬称略)
12:40 } あいさつ 13:00	(一社)全日本建設技術協会長 岩手県知事 盛岡市長	松田 芳夫 達 増 拓也 谷 藤 裕明
13:00 } 今後の地震・津波防災のあり方について 14:00 ~東日本大震災の被害実態と教訓から～	東北大学大学院工学研究科 教授	越 村 俊一
14:10 } 強靱な国土の構築に向けて 15:10	国土交通省水管理・国土保全局河川計画課 河川事業調整官	廣 瀬 昌由
15:20 } 【地域の復興事業①】 16:20 岩手県における震災復旧・復興について	岩手県県土整備部 河川港湾担当技監	及 川 隆
「参加者同士の交流・講師との意見交換会」 ホテルメトロポリタン盛岡本館 <希望者のみ> (17:30～19:30(予定)) 4階「岩手姫神」 TEL019-625-1211		
(2日目)	9月18日(木)	(敬称略)
9:40 } 【特別講演】 10:40 東日本大震災の対応について ～大震災から得た教訓～	元国土交通省東北地方整備局企画部防災課長	熊 谷 順子
10:50 } 岐阜県における風水害対策の取り組みについて 11:50	岐阜県県土整備部 次長兼河川課長	岩 崎 福久
13:00 } 【地域の復興事業②】 14:00 遠野市における沿岸被災地後方支援について	遠野市長	本 田 敏秋
14:10 } 土砂災害対策及び火山防災対策について 15:10	国土交通省水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課地震・火山砂防室 課長補佐	山 越 隆雄
15:20 } 静岡県における津波防災地域づくりの取り組みに 16:20 ついて	静岡県交通基盤部河川砂防局河川企画課 海岸企画班長	山 田 真史
16:20 } 閉会のあいさつ	岩手県建設技術協会長 (岩手県県土整備部河川課総括課長)	八重樫 弘明
(3日目)	9月19日(金) 【現場研修】	

J R盛岡駅西口 (7:30) 出発

- 高田地区海岸災害復旧事業・陸前高田市震災復興区画整理事業・気仙川災害復旧事業（気仙川水門）（下車説明）
- 昼食（大船渡市内）
- 大船渡港湾口防波堤災害復旧事業・大船渡市震災復興区画整理事業（下車説明）
- 東北横断自動車道事業－釜石秋田線－（下車説明）
- J R花巻駅 (15:50) / 花巻空港 (16:10) / J R盛岡駅 (17:10) 着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。

※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

第605回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 陸前高田市震災復興事業

…………… 岩手県陸前高田市

平成23年3月11日に発生した東日本大震災において、陸前高田市では大津波により、高田地区海岸の防潮堤を越え、市街地が飲み込まれ、商業・観光施設、地場産業施設、住宅、交通網、行政機能など広範多岐にわたる地域の社会的機能が壊滅的な被害を受けました。7万本の松林の中でただ1本だけ津波に耐え抜いた「奇跡の一本松」で有名となった陸前高田市の高田地区海岸では、地震に伴う地盤沈下及び液状化が発生し、防潮堤・松原などが流失するなど壊滅的な被害を受けました。

①高田地区海岸災害復旧事業

本事業地周辺は、名勝「高田松原」に指定されており白砂青松の風光明媚な場所で海水浴や散策など多くの方々の憩いの場でもありましたが、壊滅的な被害を受けたため、長さ約2kmに及ぶ二つの防潮堤（第一線堤、第二線堤）を再整備するとともに、津波で被害を受けた海中の人工リーフを1,200mにわたって復旧する海岸復旧工事を平成27年度の完成をめざし、実施しています。



②陸前高田市震災復興区画整理事業

津波により建物が倒壊するなど壊滅的な被害を受けた高田地区と今泉地区においては、安全な高台の住宅地への移転意向が強く、土地区画整理事業により造成工事を進めているところです。

また、今泉地区土砂搬出のためのベルトコンベア用吊り橋「希望のかけ橋」が、国道45号と気仙川を跨いで架設されました。日最大運搬量は約2万 m^3 を見込でおり、これらの活用により平成30年度の事業完成を目指しています。



③気仙川災害復旧事業 (気仙川水門)

東日本大震災に伴う大津波は、海岸付近で最大痕跡高TP+17.0mであったことが確認されており、二級河川気仙川では、東日本大震災の津波が護岸を超えて、河口から7km以上遡上しながら4橋梁を流出するなど市街地が甚大な被害を受けたことから、新たに災害復旧事業として、水門を設置し、防潮堤の再整備とあわせて、新しい市街地を津波から守ります。



2 大船渡市震災復興事業

..... 岩手県大船渡市

①大船渡港湾口防波堤災害復旧事業

大船渡港湾口防波堤は、昭和35年5月の南米チリ地震による津波被害をきっかけに建設され、40年以上に渡って大船渡市を津波や波浪から守ってきました。しかし、平成23年3月11日に発生した東日本大震災において、ほぼ全てケーソンがマウンドから滑落しました。被災後、港内の水質改善が見られ、湾口防波堤の不要論が起りましたが、大船渡市民の津波や波浪に対する不安を解消するため復旧が決定され、懸念される湾内の水質悪化に対しては、海水交換機能を有するよう南堤、北堤の陸側端部に20mの開口部を、防波堤中央開口部のマウンド内には通水管を設置します。

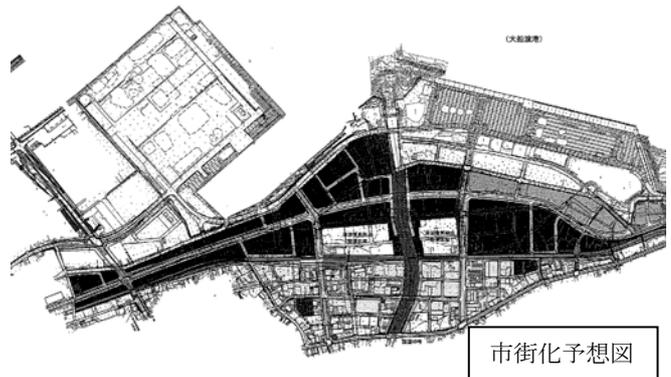


②大船渡市震災復興区画整理事業

大船渡駅周辺地区土地区画整理事業及び津波復興拠点整備事業として、津波からの安全なまちづくりと賑わいのある商業機能の集積を目指す土地利用方針とし、道路・公園等をはじめとする公共施設の再整備や地盤の嵩上げを行い、安全な市街地の形成と産業の復興を図っています。大船渡駅周辺地区については、災害に強いまちづくりを目指すとともに、将来的に市の中心地区として、産業の振興を図る土地利用と安全・安心な住宅街を整備することとし、津波が発生した場合でも都市機能を維持するための拠点となる市街地を形成するため、防災拠点施設の整備及び商業・業務の再生を図ることとしています。



鳥瞰図 (イメージ)



市街化予想図

3 東北横断自動車道建設事業 釜石秋田線

..... 岩手県釜石市～秋田県秋田市

東北横断自動車道釜石秋田線は、釜石港、大船渡港などの重要港湾や三陸地方拠点都市地域と、花巻空港や北上中部地方拠点都市地域、ひいては日本海側の空、海の玄関口である秋田市とを結ぶ、東北地方の広域交通網の骨格をなす総延長211kmの高速自動車国道です。東日本大震災で被災した沿岸地域の日でも早い復興を支援するとともに、沿岸と内陸の交流をより促進するものとして、復興支援道路の整備を進めています。現在着工中の同路線は、遠野IC～東和ICまでの33kmは国の直轄施工での整備を進めています。この路線が開通

すると、産業（物流）の効率化及び地域医療の連携強化が図られるとともに、沿線地域の観光の振興も期待され、岩手県の復興に大きな役割を果たすこととなります。



第605回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊斡旋：宿泊希望者には盛岡市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (J F Aハウス5階) 「全建担当デスク」迄
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の前日から起算してさかのぼって		当日 (宿泊開始前)	宿泊開始後及び 無連絡不泊
4日前まで	3～1日前 (前日)		
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

斡旋する宿舎名、宿泊料

平成26年9月16日(火), 17日(水), 18日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

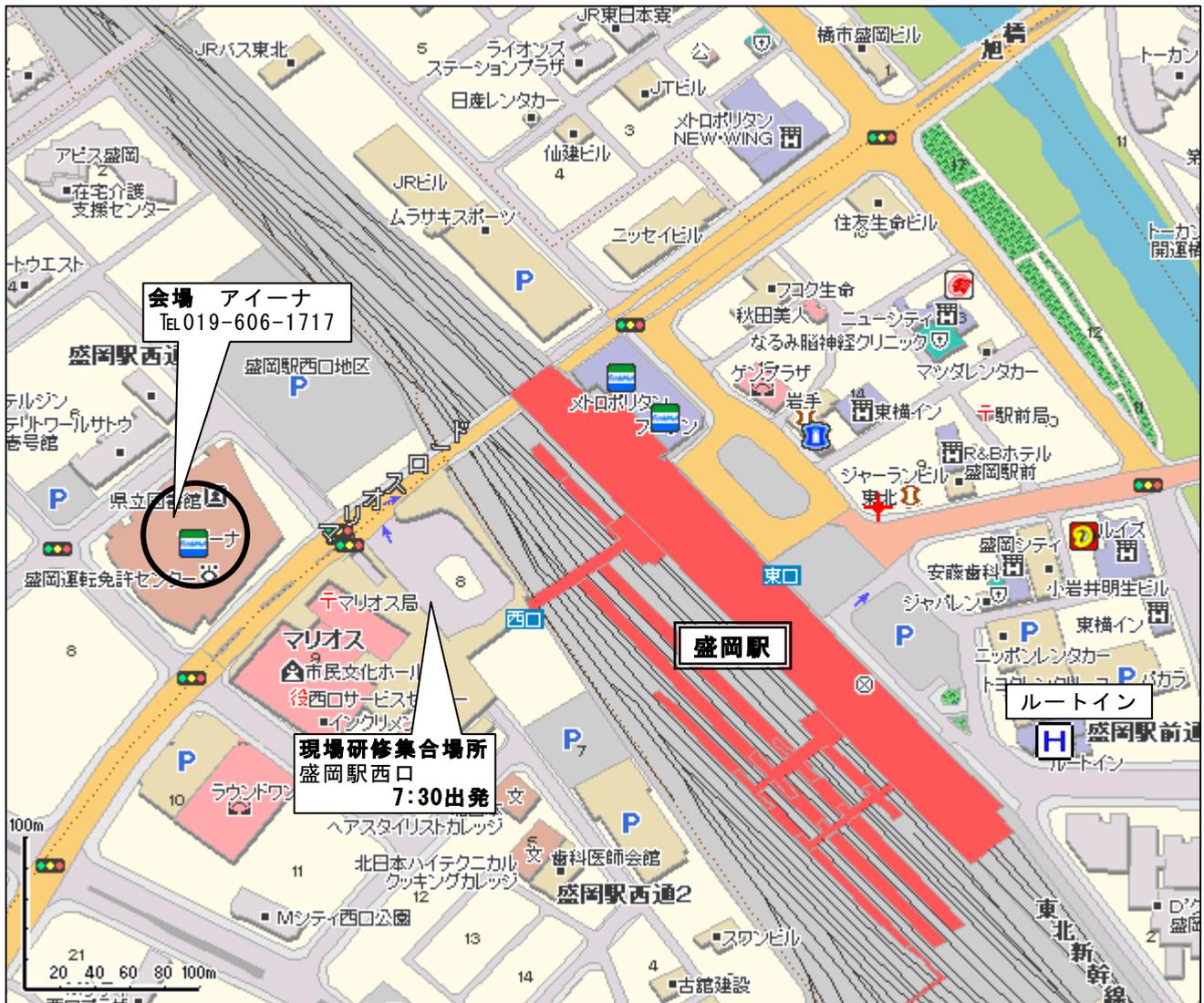
宿舎名	所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
ルートイン盛岡駅前	盛岡市盛岡駅前通3-25 Tel019-604-3100	シングル	30名	6,600円

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

※宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は「宿泊案内」をご覧ください。

案内図



第605回建設技術講習会に参加の皆様へ！

「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します
～ 復興応援ありがとう!! in いわて～ **三陸復興**



(一社)全日本建設技術協会では、「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会講習会にご参加いただく方々の交流と、講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流をはかる場としています。

なお、今回の交流会では、岩手県建設技術協会から震災復興への全国各地からの応援職員の派遣に感謝の気持ちを伝えるためのおもてなしも行われます。ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時：平成26年9月17日(水) 17:30～19:30(予定)

(第605回建設技術講習会 1日目講義終了後)

場所：ホテルメトロポリタン盛岡 4階「岩手姫神」

会費：2,000円(講習会受付時に徴収)

※開催時間は変更になる場合がありますので、開催当日にご案内いたします。

※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。

※この交流会は会費制です。

※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。

※立食パーティ形式でご当地グルメ等を用意しています。



わんこぎょうたいいそぼっち

(交流会に参加予定の講師)

※講師の都合により変更になる場合があります。

- | | |
|------------------------------|----------|
| ・元国土交通省東北地方整備局企画部防災課長 | 熊谷 順子 講師 |
| ・国土交通省水管理・国土保全局河川計画課 河川事業調整官 | 廣瀬 昌由 講師 |
| ・静岡県交通基盤部河川砂防局河川企画課 海岸企画班長 | 山田 真史 講師 |

- 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
 - 参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
 - 意見交換・情報交換
- 参加者と講師との交流・懇談
 - 講師との交流
 - 質疑応答など
- 岩手県建設技術協会による復興応援感謝イベント
 - ミスさんさによる「盛岡さんさ踊り披露」
 - 三陸鉄道職員が語る「あまちゃん撮影秘話」
 - 地酒お振舞

※都合により内容が変更になる場合があります。



<問合せ>



(一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com

一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 _____
(特別・賛助会員名、会社名)

第605回建設技術講習会（災害に強い国土・地域づくり）申込書

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別		現場研修	交流会	宿泊申込			
(フリガナ) 氏名 (女性の場合は番号に○をつけて下さい)	年齢		正会員	正会員			一般(非会員)	予約日に○を記入して下さい		
				30歳未満				9月16日	17日	18日
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
聴講料 正会員・特別会員・賛助会員 名×12,900円＝ 円 正会員(30歳未満、地元) 名×2,000円＝ 円 ※正会員(30歳未満)とは、全国の30歳未満の「正会員」 ※正会員(地元)とは、開催県内に勤務する「正会員」(賛助会員除く) 一般(非会員) 名×17,900円＝ 円 現場研修料 名×8,600円＝ 円 計 円			↑ 現場研修の昼食は不要の申し出はできません※		宿泊代金は、ホテルチェックイン時に全額お支払ください。 禁煙・喫煙の希望がある場合には、「○禁」、「○喫」のように記入してください。					

↓全建に振込

【お申込み時の注意について】

正会員(30歳未満)でお申込みの方は必ず年齢をご記入ください。

【お申込みについて】

必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の(写)〕を添えて期限までになるべくメール又は郵送にてお申込み下さい。

【変更・取り消し・追加方法について】

電話での受付はいたしません。また、正会員(30歳未満、地元)は割引価格のためキャンセルはできません。本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。取り消しをする際には開催案内に記載しているキャンセル料がかかります。

【聴講時の昼食について】

昼食の斡旋はありません。

【現場研修時の昼食について】

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をします。不要の申し出はできません。予めご了承下さい。